

釜石発

ラグビー練習で交流

ラグビーW杯の試合が行われる釜石で、ニュージーランドのクライストチャーチ市の高校生と地元の釜石高校、釜石商工高校の生徒によるラグビーの合同練習が行われました。クライストチャーチ市は震災の2週間ほど前に大地震による被害を受けた都市で、生徒たちはパスを回したり、タックルをしたりしながら交流を深めました。(9/28 ニュースエコー)



釜石発

復興願う全校マラソン



釜石鶴住居復興スタジアムで、地元の鶴住居小学校のマラソン大会が行われました。マラソン大会は毎年恒例ですが、今年から震災前に校舎があった場所のスタジアムの周りを走るコースになりました。子どもたちは少しずつ進む復興への感謝と喜びを感じながら、元気いっぱい走っていました。

(9/28 ニュースエコー)

大船渡発

元日本代表が指導

スポーツで元気を届けようと元日本代表選手によるサッカー教室が大船渡市で開かれました。この日、コーチを務めたのはサッカー日本代表で活躍した水沼貴史さん、秋田豊さん、森岡隆三さんら6人。参加した子どもたちは、生で見るプロの技術に目を輝かせ、ボールから目を離さずにドリブルする練習などに取り組んでいました。(9/29 ニュース)



宮古発

市役所新庁舎が開庁

宮古市役所新庁舎が入る施設「イーストピアみやこ」の開庁式が行われました。式典ではテープカットをして宮古の新たな顔となる施設の門出を祝いました。交流センター、保健センターも入るこの施設には自家発電装置も備えられ、災害時にはおよそ2000人の一時避難所にもなります。(10/1 ニュースエコー)



大船渡発

新酒の出荷始まる



陸前高田で被災し、震災後、大船渡に工場を再建した「酔仙酒造」で新酒の出荷が始まりました。出荷されたのは、

主力商品の「活性原酒 雪っこ」。今年は「スッキリと切れのある飲み口に仕上がった」ということです。出荷式では、神事後、新酒を乗せたトラックが、社員に見送られて各地の販売店に向け出発しました。(10/1 ニュースエコー)

大槌発

三陸沿岸道路を見学

2020年春の開通を目指して整備が進む三陸沿岸道路・釜石山田道路の工事の様子を、大槌町の大槌学園の小学生が見学しました。釜石山田道路の大槌高架橋の工事現場に到着した子どもたちは、大槌川にかかる長さ375メートルの橋を歩いて渡りました。そして記念として、道路の基礎となる部分に思い思いの絵を描いていました。(10/2 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中

詳細はIB公式サイトから<http://www.ibc.co.jp/>

IBC復興支援室事務局 019-623-3122